

6年 音楽 曲想を味わおう

授業者 佐々木 香織

■本時のねらい

「ねこふんじゃった」のいろいろなバージョンを鑑賞し、音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す曲想を感じ取りながら、要素と曲想とを関連させて聴くことができる。

■本時におけるICT活用の効果

スタディネットの機能を活用し、考えを友達と比較したり全員で共有したりしながら、曲想と音楽の要素との関係を学習できるようにする。友達の手書きが見えることで、イメージは人それぞれに違いがあるが、それを裏付ける音楽の要素は共通のものであることが確かめられる。

■学習計画及び本時の展開

時	学 習 計 画	
	学 習 活 動	指導上の工夫 ★ICT活用 ☆思考力育成の視点
1 (本 時)	<p>1 テーマ「ねこふんじゃった」を聴く。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねこはどうなっちゃったのだろう。なぜそのように感じたのだろう。音楽の何からそう感じたのだろう。</p> </div> <p>3 「ねこのカノン」を聴き、ねこがどうなったかを想像し、そう考えた理由を話し合う。</p> <p>4 ペアで、いろいろなバージョンを聴き、感じたねこの様子をもとに音楽の要素との関連を考え、くらげチャートにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思考スキル「理由づける・関係づける」</p> <p>〈鑑賞する曲〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仔ねこふんじゃった」 ・「悲しみのねこふんじゃった」 ・「ねこ翔んじゃった」 ・「ねこのブギウギナイト」 <p>〈取り上げる音楽の要素〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律・速度・調・強弱・音色・リズム ・音の重なり・拍 など </div> <p>5 おすすめの「ねこふんじゃった」の紹介文を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">期待される児童の表現</p> <p>「ねこ翔んじゃった」は、曲の途中でグリッサンドが入り、空まで飛んでいくイメージとびったりだ。また、飛んでいくまで見届けてような間がおもしろい。また、途中で急速になり、ジャズ風のリズムに変わるところから、アメリカのイメージがする。</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・数名の児童のピアノの演奏から、オリジナルの曲想を確かめられるようにする。</p> <p>★スタディネットを使い、全員の考えを共有する。</p> <p>☆くらげチャートを使い、曲想から想像したタイトルと、そう考えた理由(音楽の要素)の関係をまとめる。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>☆それぞれのチャートを画面で比べながら、同じ音楽を聴いても感じ方が違うこと、感じ方が違っても音楽の要素は共通のものであることに気付けるようにする。</p> <p>・一番気に入ったバージョンを選び、曲想から要素の違いを理由づけて説明する文章が書けるように、例を示してから作文の時間をとる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">◎評価</p> <p>様々なアレンジされた「ねこふんじゃった」を聴き比べ、それらが生み出す雰囲気や様子を感じ取りながら、それらと音楽の要素や仕組みとの関わりを考えて表している。(ワークシート、発表)</p> </div> <p>・数名の紹介文を紹介する。</p>
2・3	「ねこ〇〇した」のイメージから、音楽の要素や仕組みを工夫して音楽づくりをする。	
4・5	旋律の音の上がり下がりや重なり方から、表現の仕方を考えて「広い空の下で」を歌う。	
6	「ハンガリー舞曲第5番」を聴き、旋律の反復や変化、強弱、速度、などの変化が生み出す曲想を感じ取る。	
7・8	曲想を生かして「風を切って」の合奏をする。	